



岩城少年自然の家だより

自然は友だち 青い海原 緑の山なみ

のべ利用者数（1983年6月～2026年6月） 1,154,602 名 6月の利用者数 1,745 名

秋田県立岩城少年自然の家
（ガンパル岩城）2026. 7. 30



CASTING AYU WORKSHOP開催

共催 由利本荘市中央公民館
後援 子吉川水系漁業協同組合
協賛 株式会社釣り東北社



飯田重祐講師と 河川文化継承プログラム「CASTING AYU WORKSHOP 2026」参加者

7月25日（土）「CASTING AYU WORKSHOP」を開催しました。本事業は、日本を代表するトップアングラー（釣りの達人）から、正しいマナーとキャスティングアユゲームの楽しさを学び、地域の豊かな自然と河川文化を次代に継承するための試みです。

日本ルアーフィッシング界でレジェンドと称される飯田重祐様から、「県立施設では初の試みだと思いますよ。」との言葉と講師快諾の返答を頂戴し、由利本荘市や子吉川水系漁業協同組合、釣り東北社や釣具店の皆様のご協力で実現できました。

当日は、定員を超える11名の参加者が飯田講師の釣り姿に学び、ルアーによるアユ釣りを体験しました。その後は、各参加者が飯田講師からポイントの見極め方やルアー操作についてアドバイスをもらい、実際にアユを釣り上げました。

本事業は、県内初の一般向けキャスティングアユ講習会でした。本県で最初に飯田重祐講師直伝となった参加者の皆様が、アユ釣り文化の担い手として、夏の子吉川でアユ釣りを楽しむ機会になればこれ以上無い幸いです。

本事業の運営にあたり、講師をご快諾いただいた株式会社パームス代表取締役飯田重祐様をはじめとする、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



加田喜沼湿原 希少生物観察



由利本荘市大内地区長坂町内の方々は、1万年以上前の自然を今に伝える「天然記念物加田喜沼湿原」を後世に残すため、年に一度湿原を開放して作業を行います。この度、長坂町内の皆様のご理解をいただき、特別に希少生物観察を開催することができました。7月18日（土）、6組12名のご家族と共に、水辺の希少な生物を捕獲して観察しました。参加したお子さんたちは、ジオパーク長船研究員の説明を聞きながら、捕まえた在来種のモツゴやサンショウウオを手にとって観察し、故郷の自然の豊かさを実感していました。

ジオパーク事務局推進協議会 共催

タガメ搜索プロジェクト

セカンドシーズン



現在、日本でタガメが生息する都道府県は10程度で、その一つが秋田県です。しかし、過去4年間本県でタガメは捕獲されていません。そこで秋田のタガメを見つけて絶滅から守るため、昨年度「タガメ搜索プロジェクト」を開始しました。そして、現在までに二つの市からタガメの目撃情報が寄せられました。

そこで、7月19日（日）午前、他県からの参加者を含む、7組14名の方々とタガメ搜索に向かいました。あいにくの雨模様の中、タガメ目撃情報のあった三か所を調査しました。一場所目、二場所目とも水に入って搜索しましたがタガメは発見できず、最後の三場所目も残念ながら、ミズカマキリの捕獲にとどまりました。

今回タガメは発見できませんでしたが、三市の学校が協力してくれたお陰で、タガメの情報は確実に集まりつつあります。ジオパークの長船研究員は、「絶滅が危惧される希少生物の学術調査において、学校が調査に協力した事例はありません。」と話します。今後、長船研究員から環境省へ「秋田のタガメ生息確認」を報告できるよう、情報の募集と調査を続けていきます。参加者の皆様の熱意に感動した日でした。

8月の予定

受け入れ団体等

高校・特支初任者研修 19日（水）

<主催事業・出前講座>

川遊び体験	1日（土）	ぼぼろっこ	9日（日）
浜松町子供会	2日（日）	ファミリーサーフィン体験	11日（火）
利用相談会④	3日（月）	オープンデー	16日（日）
由利公民館	4日（火）	ファミリーサップ体験	16日（日）
わんぱくキャンプ	6日（木）～ 8日（土）		



秋田県立岩城少年自然の家



FB



IG



HP



【熊対策備品の持参について】

野外活動を行う際は、直前に職員が活動場所を歩き、爆竹を鳴らしています。しかし、7/2（木）自然散策路付近で二頭の熊が目撃され、児童及び教員が避難しました。野外活動を希望する場合は、各団体で熊対策用品を持参するようお願いします。

*熊スプレーの数に限りがあります。